

ARCHITREND まるごと環境移行

本書は「ARCHITREND まるごと環境移行」の説明書です。このツールを使用する前に必ずお読みください。

機能概要

「ARCHITREND まるごと環境移行」は、お使いの ARCHITREND ZERO/Modelio と関連するアプリケーションの環境情報（マスタ・データ）を、別の PC にまとめて移行することができるツールです。

例えば新しい PC を購入したときなど、使用中の ARCHITREND ZERO/Modelio と関連するアプリケーションで構築した環境情報を新しい PC に簡単に移行することができます。また、不慮の事故や災害に備えて、バックアップ、リカバリーツールとしても利用できます。

このツールで移行できるのは環境情報のみでプログラムは含まれません。移行先 PC で環境情報を復元する前に、対象アプリケーションをインストールしておく必要があります。

※ 本機能は、ARCHITREND ZERO Ver9 シリーズ以降でご利用になれます。



※ 移行元 PC から環境情報をアップロードするには、3D カタログ.com の有料会員が必要です。

対象となるアプリケーション

このツールでまとめて環境情報を移行できるアプリケーションは以下の通りです。

- ARCHITREND ZERO Ver.9～
- ARCHITREND 省エネナビ Ver.5～
- ARCHITREND Modelio 2022 9 月版以降～
- 3D カタログマスタ Ver.7～ (Archi Master も含む)
- ARCHITREND Manager Ver.17～
- ARCHITREND 見積 Ver.12～
- ARCHITREND V-style Ver.2～
- TREND CA Ver.6～
- ARCHITREND プレゼンデザイナー Ver.7～

※ 移行元 PC に 1 つのアプリケーションが複数バージョンインストールされている場合は、最新バージョンのみが移行の対象となります。

※ ARCHITREND ZERO の基本設定のポップアップ・クロックメニュー・キー割り当ての情報も移行の対象となります。

※ Archi Master の単色素材の情報も移行の対象となります。

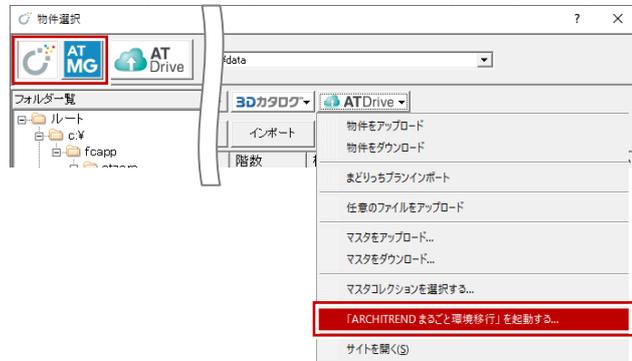
注意事項

- 対象となるアプリケーションをすべて終了してから、このツールを実行してください。
- このツールは、ローカルフォルダで構築しているマスタ、データが対象です。共有フォルダのマスタ、データの環境移行は行えません。
- 環境情報の移行、復元には時間がかかりますので、ご注意ください。

1 「ARCHITREND まるごと環境移行」の起動方法

ARCHITREND ZERO

ZERO からは、『物件選択』画面の『ATDrive』メニューから『「ARCHITREND まるごと環境移行」を起動する』を選びます。



【ZERO 管理/ATMG データ管理】



【ARCHITREND Drive データ管理】

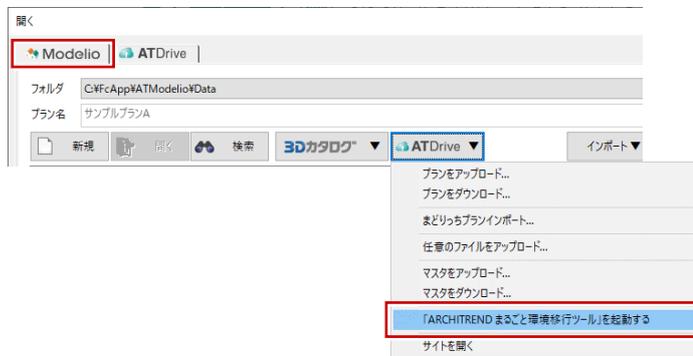
右図のメッセージ画面が表示されます。「はい」を選ぶと、ZERO が終了し、ARCHITREND まるごと環境移行が起動されます。



マスタ同期機能が ON のときに表示されます。「はい」を選ぶと、マスタ同期機能が OFF になります。

ARCHITREND Modelio

Modelio からは、『開く』画面の『ATDrive』メニューから『「ARCHITREND まるごと環境移行」を起動する』を選びます。



【Modelio タブ】



【ATDrive タブ】

右図のメッセージ画面が表示されます。「はい」を選ぶと、Modelio が終了し、ARCHITREND まるごと環境移行が起動されます。



ARCHITREND まるごと環境移行



2 移行元 PC で環境情報を移行する

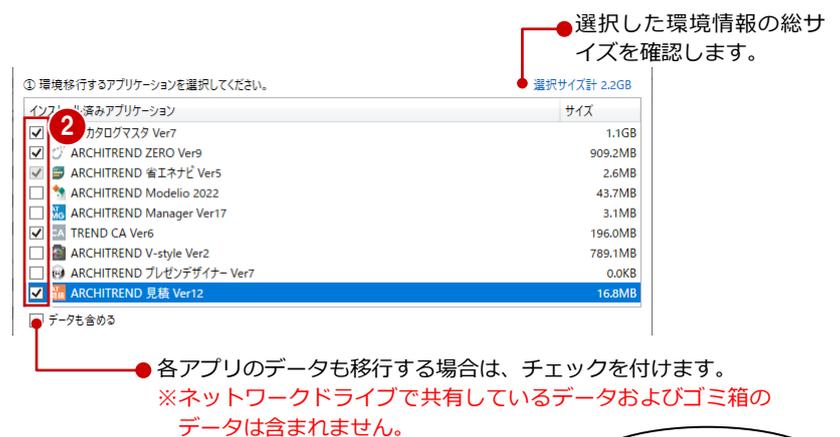
移行元 PC で構築した環境情報を ATDrive へ移行します。

※ この操作は、3D カタログ.com の有料会員が行えます。

- ① 「環境移行」が ON になっていることを確認します。OFF の場合は、「環境移行」をクリックします。



- ② インストール済みのアプリケーションが一覧表示されているので、環境情報を保存するアプリケーションにチェックを付けます。



【注意】「データも含める」にチェックを付ける場合、環境復元時のデータ上書きにご注意ください。

- ③ アップロード先のスペースを指定します。スペースを変更する場合は、「ATDrive」をクリックします。



- ④ 移行する環境情報について「メモ」に入力します。

- ⑤ 選択した環境移行データの総サイズと「空き容量」のサイズから、スペースの空き容量が足りているか確認します。

- ⑥ 「アップロード」をクリックします。

- ⑦ アップロードが完了するとメッセージ画面が表示されます。「はい」または「いいえ」を選びます。
また、3D カタログ.com からメールが送られてきます。「非公開でアップロード」にチェックを付けた場合は、3D カタログ.com からのメールはありません。※



「はい」を選ぶと、ATDrive サイトが開き、アップロードした環境移行データを確認することができます。「いいえ」は、メッセージ画面を閉じて終了します。

※ 公開後に、メールを送信することも可能です。

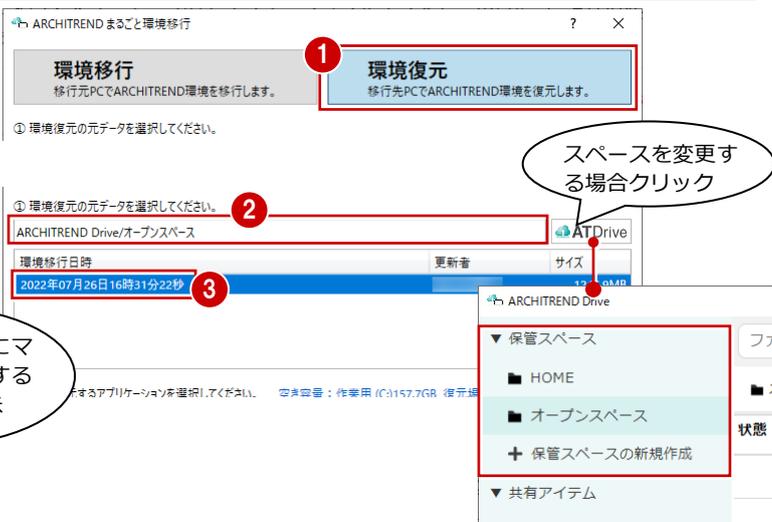
3 移行先 PC で環境情報を復元する

【注意】 インストール後、必ず ARCHITREND ZERO / Modelio、および関連アプリケーションが正常に起動することを確認してください。

移行先の PC で環境情報を復元するアプリケーションをインストールしたら、ATDrive にアップロードされている環境移行データを使って復元します。

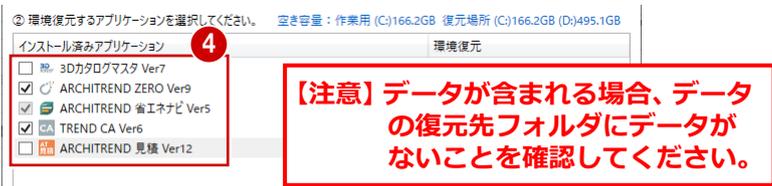
※ この操作は、3D カタログ.com 会員（無料・有料会員）で ATDrive の参照権限が与えられているユーザーが行えます。

- 1 「環境復元」をクリックして ON にします。
- 2 アップロード元のスペースを指定します。
スペースを変更する場合は、「ATDrive」をクリックします。
- 3 復元する環境移行データを選択します。

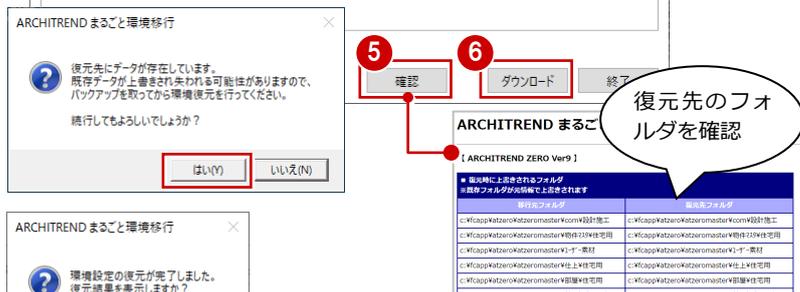


環境移行データにマウスをポイントすると詳細情報が表示

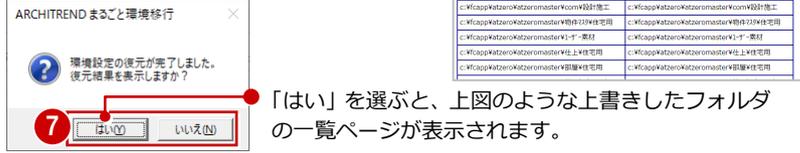
- 4 環境移行データから復元する対象のアプリにチェックを付けます。
- 5 「確認」をクリックして、復元先の各アプリケーションのマスター、データのパスを確認します。



- 6 「ダウンロード」をクリックします。
環境移行時に「データも含む」にチェックを付けた環境情報を復元する際、復元先のフォルダにデータが存在する場合、右図のメッセージ画面が出ます。確認して、「はい」を選びます。



- 7 ダウンロード & 復元処理が完了すると、メッセージ画面が表示されます。確認して「はい」または「いいえ」を選びます。



以上で環境情報の移行は終了です。
移行先 PC でアプリケーションを起動して、マスタやデータなどが移行できているか確認してください。

【注意】 お客様が作られたデータはお客様にとって大切な財産です。万が一の不慮の事故による被害を最小限にとどめるために、復元後も、移行先の PC で正常に動作することが確認できるまで、移行元の PC のデータは削除しないでください。